

## 2 ボランティア活動

- (1) 1年間に「ボランティア活動」を行った人は約3263万人、行動者率は28.9%

過去1年間に何らかの「ボランティア活動」を行った人は3263万4千人で、10歳以上人口に占める割合（行動者率）は28.9%となっている。行動者率を平成8年と比較すると、3.6ポイント上昇している。

行動者率を男女別にみると、男性は27.0%（行動者数1485万6千人）、女性は30.6%（1777万8千人）で、女性が高くなっている。これを平成8年と比較すると、男性は2.8ポイント、女性は4.2ポイント上昇している。

- (2) 40歳代前半で最も高い「ボランティア活動」の行動者率

「ボランティア活動」の行動者率を年齢階級別にみると、40歳代前半が38.4%と最も高く、逆に20歳代後半が18.3%と最も低くなっている。これを平成8年と比較すると、すべての年齢階級で上昇しており、特に10歳代前半から20歳代前半で大幅に上昇している。（図2-1）

行動者率を男女別にみると、女性の30歳代後半（42.6%）と40歳代前半（43.3%）で高くなっており、10歳代前半から60歳代前半まで女性が男性より高くなっている。（図2-2）

図2-1 年齢階級別「ボランティア活動」の行動者率 - 平成8年，13年

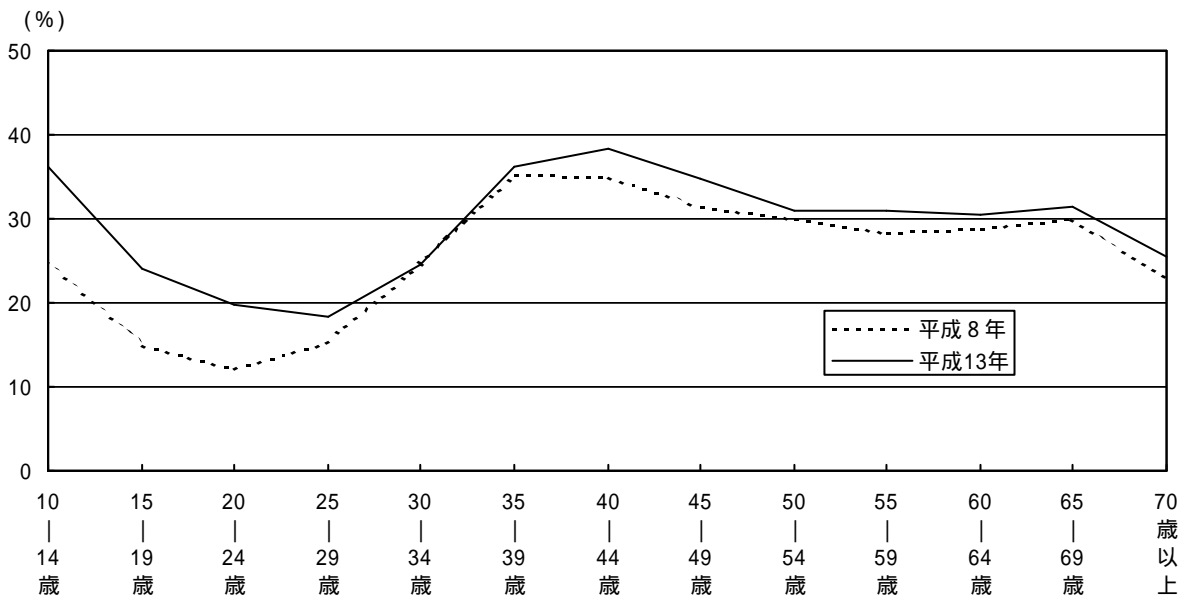
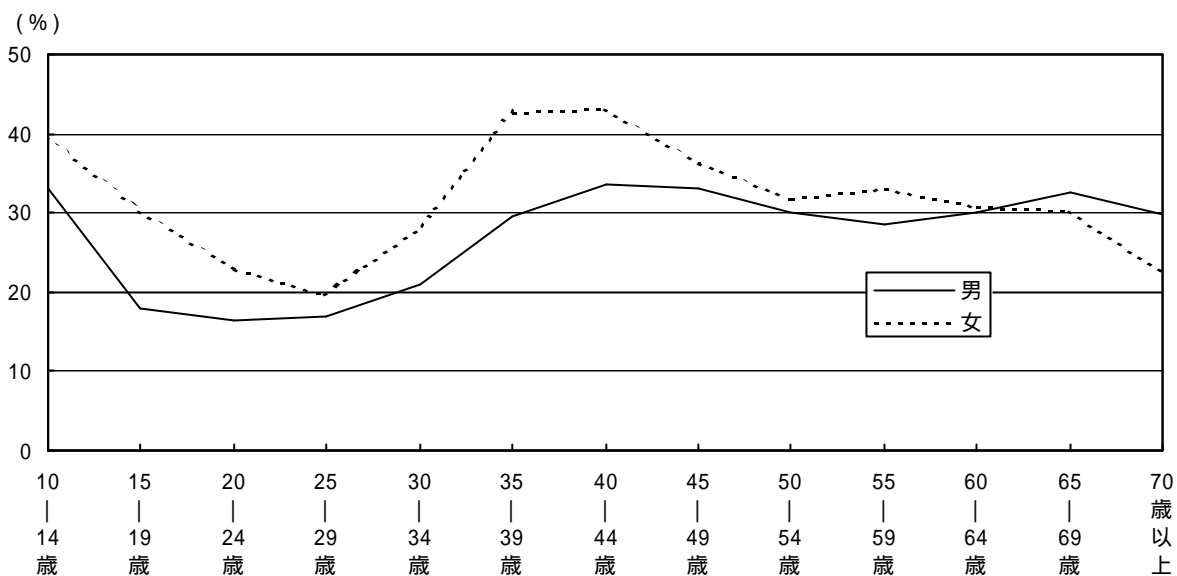


図2 - 2 男女，年齢階級別「ボランティア活動」の行動者率

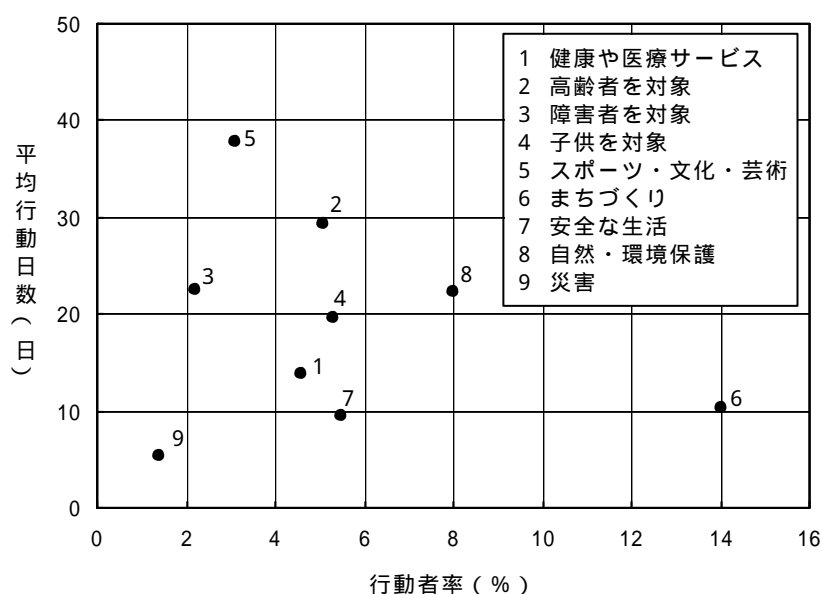


(3) 行動者率が最も高いのは「まちづくりのための活動」

「ボランティア活動」を行った人を活動の種類別にみると、「まちづくりのための活動」が 1584 万 7 千人（行動者率 14.0%）と最も多く、次いで、「自然や環境を守るための活動」が 906 万 9 千人（8.0%）、「安全な生活のための活動」が 624 万 3 千人（5.5%）、「子供を対象とした活動」が 602 万 6 千人（5.3%）となっている。

また、1 年間の平均行動日数を「ボランティア活動」の種類別にみると、「スポーツ・文化・芸術に関係した活動」が 37.8 日と最も多く、次いで、「高齢者を対象とした活動」が 29.4 日、「障害者を対象とした活動」が 22.6 日、「自然や環境を守るための活動」が 22.3 日となっている。（図2 - 3）

図2 - 3 「ボランティア活動」の種類別行動者率・平均行動日数

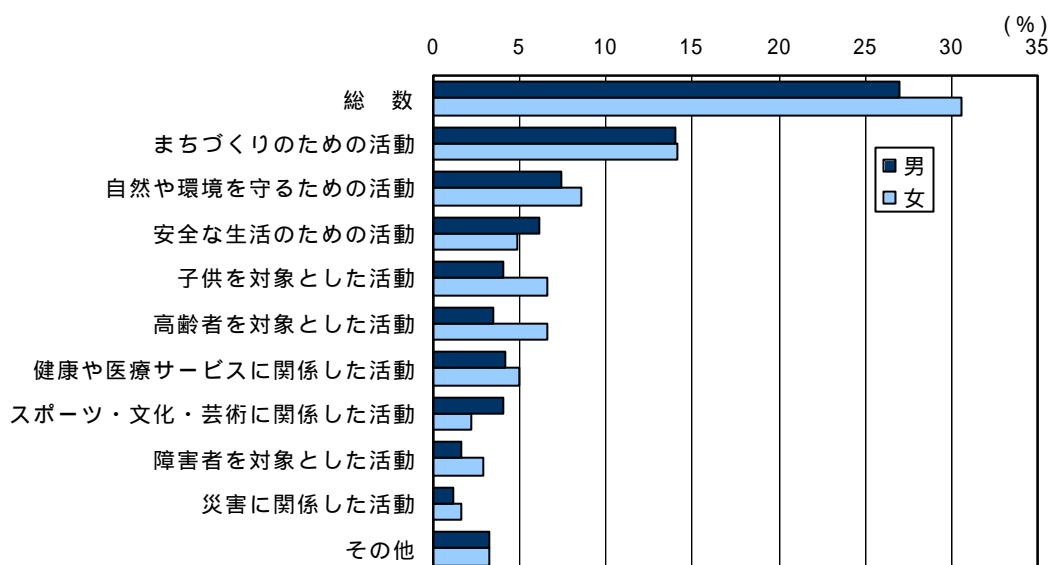


- (4) 平均行動日数が多いのは、男性は「スポーツ・文化・芸術に関係した活動」、女性は「高齢者を対象とした活動」

「ボランティア活動」の行動者率を男女別にみると、男女とも「まちづくりのための活動」が最も高く、次いで、「自然や環境を守るための活動」が高くなっているが、以下、男性は「安全な生活のための活動」、「健康や医療サービスに関係した活動」の順、女性は「高齢者を対象とした活動」、「子供を対象とした活動」の順となっている。また、男性と女性の行動者率の差が大きいものをみると、「高齢者を対象とした活動」(女性が3.1ポイント高い)が最も大きく、次いで、「子供を対象とした活動」(女性が2.6ポイント高い)、「スポーツ・文化・芸術に関係した活動」(男性が1.8ポイント高い)の順となっている。(図2-4)

また、平均行動日数を男女別にみると、男性は「スポーツ・文化・芸術に関係した活動」が43.5日、女性は「高齢者を対象とした活動」が31.7日と、最も多くなっている。

図2-4 男女、「ボランティア活動」の種類別行動者率



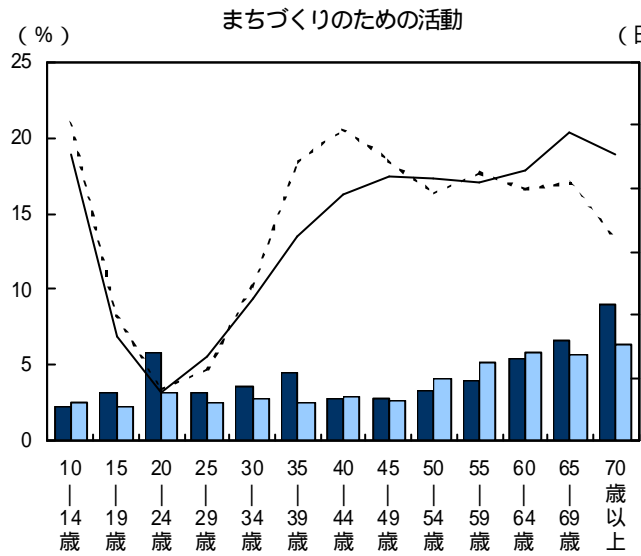
- (5) 「子供を対象とした活動」の行動者率は30歳代後半と40歳代前半の女性が際立って高い

「ボランティア活動」の行動者率が高い種類を年齢階級別にみると、「まちづくりのための活動」、「自然や環境を守るための活動」は男女とも10歳代前半で高く、さらに女性は40歳代前半、男性は60歳代後半で高くなっている。また、平均行動日数をみると、「まちづくりのための活動」は、男女ともおおむね年齢が高くなるに従って多くなり、「自然や環境を守るための活動」は男女とも20歳代前半から30歳代前半にかけて多くなっている。

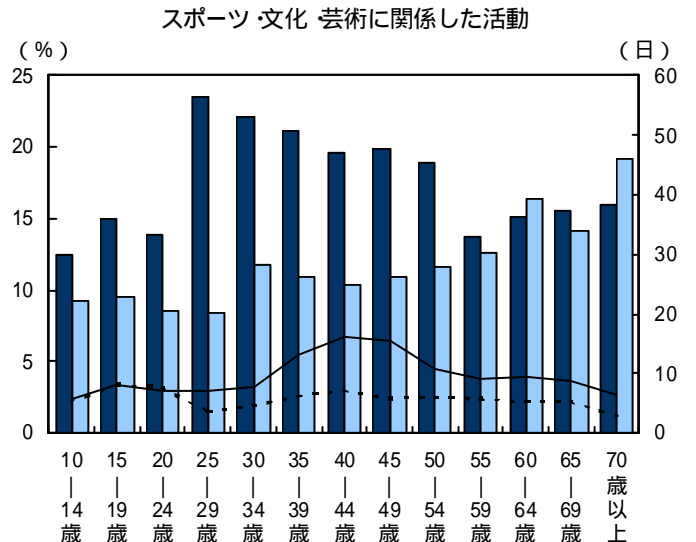
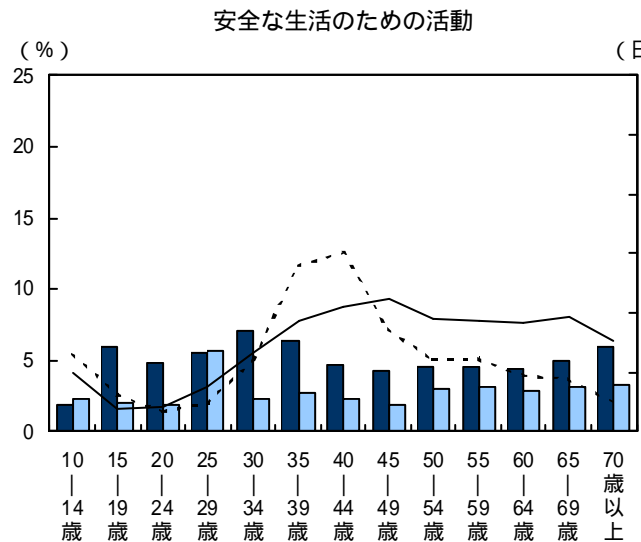
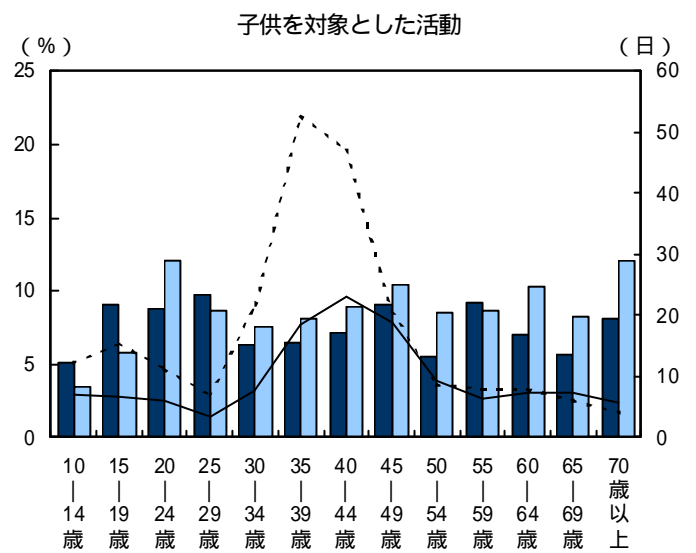
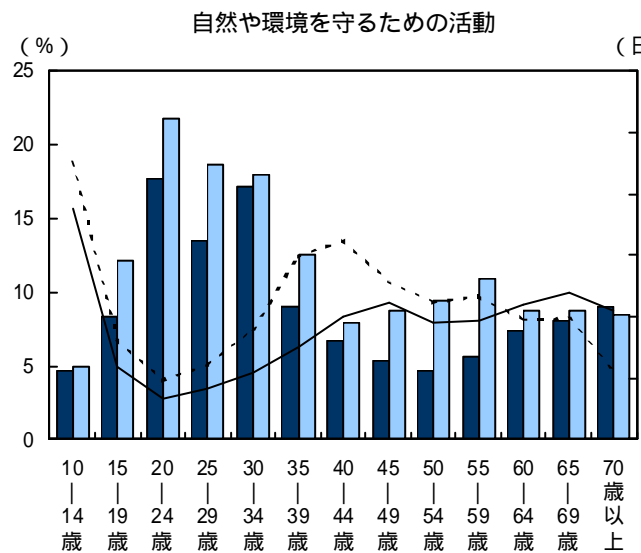
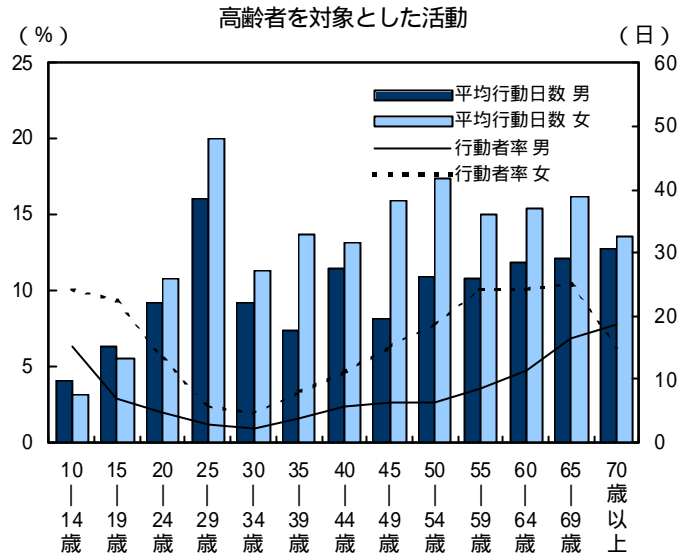
また、男性と女性の行動者率の差が大きい種類を年齢階級別にみると、「高齢者を対象とした活動」では男性は10歳代前半と60歳代後半以上で高くなっており、女性は10歳代と50歳代後半から60歳代後半にかけて高くなっている。「子供を対象とした活動」では男性は40歳代前半で最も高く、女性は30歳代後半と40歳代前半が際立って高くなっている。また、平均行動日数をみると、「高齢者を対象とした活動」は20歳以上のすべての年齢階級で女性が男性より多く、「子供を対象とした活動」は男性と女性に大きな違いはみられない。(図2-5)

図2 - 5 年齢階級, 「ボランティア活動」の種類別行動者率・平均行動日数

- 行動者率の高いもの -



- 男女差の大きいもの -

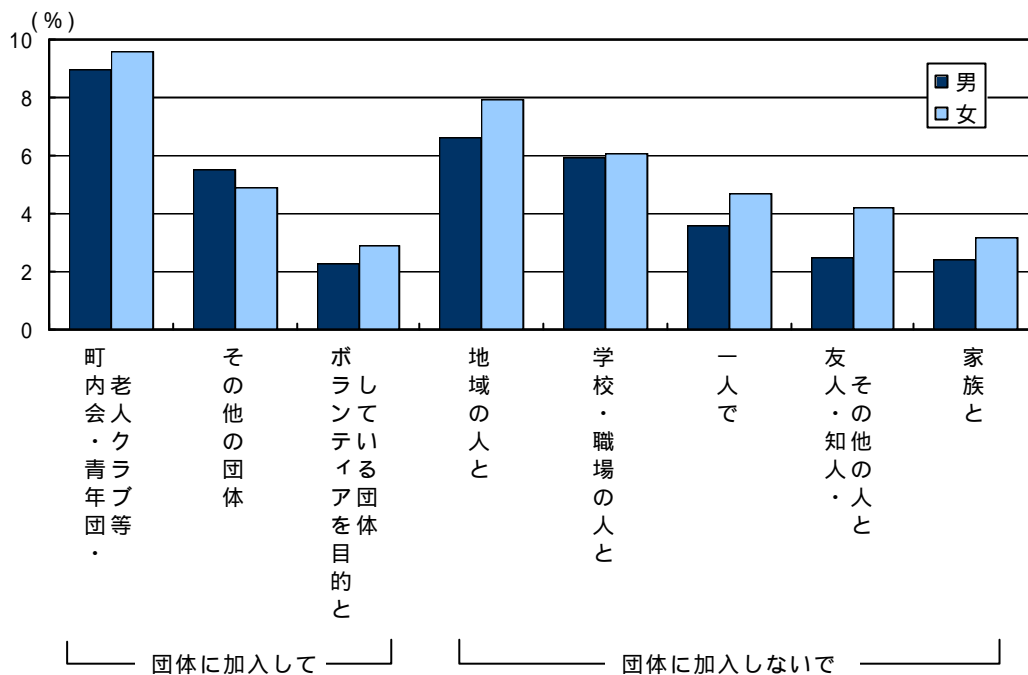


(6) 居住地域とのつながりが大きい「ボランティア活動」

「ボランティア活動」の行動者率を活動の形態別（複数回答）にみると、男女とも最も高いのが「町内会・青年団・老人クラブ等」に加入して行った活動、次いで、団体には加入せず「地域の人と」行った活動となっており、居住地域と関係する活動形態の行動者率が高くなっている。

(図2 - 6)

図2 - 6 男女、「ボランティア活動」の形態別行動者率



(7) 「ボランティア活動」の行動者率は低いものの、平均行動日数が多い大都市

「ボランティア活動」の行動者率を都市階級（人口規模）別にみると、活動の種類によって多少の違いはあるが、おおむね人口規模が小さい都市階級ほど高くなっている。逆に、平均行動日数では、人口規模が大きい都市階級ほど多くなっている。

このように、大都市ではボランティア活動をする人の割合は低いものの、行動者の活動日数は多く、町村では、活動日数は少ないものの、ボランティア活動に参加している人の割合は高くなっている。(図2 - 7, 図2 - 8)

図2-7 都市階級，「ボランティア活動」の種類別行動者率

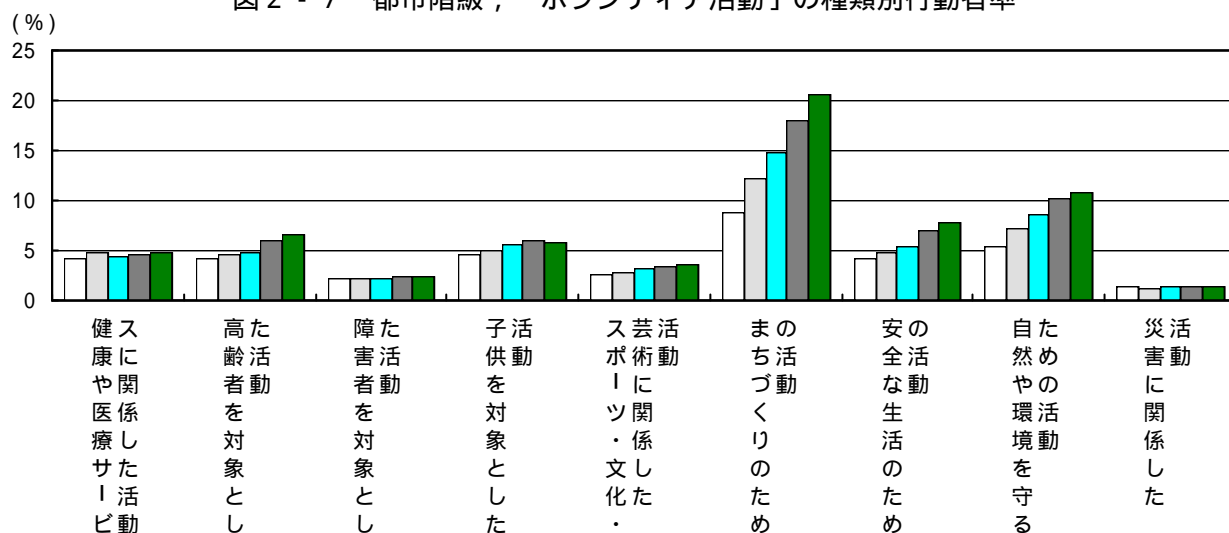
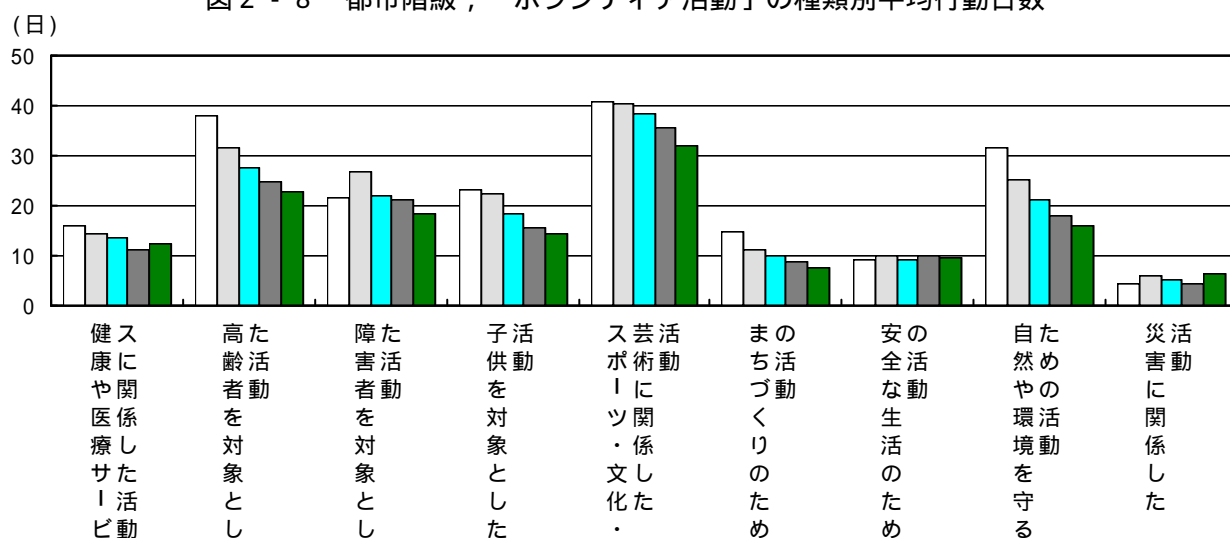


図2-8 都市階級，「ボランティア活動」の種類別平均行動日数



□大都市：人口100万人以上の市  
 □中都市：人口15万人以上100万人未満の市  
 ■小都市A：人口5万人以上15万人未満の市  
 ■小都市B：人口5万人未満の市  
 ■町村：町及び村